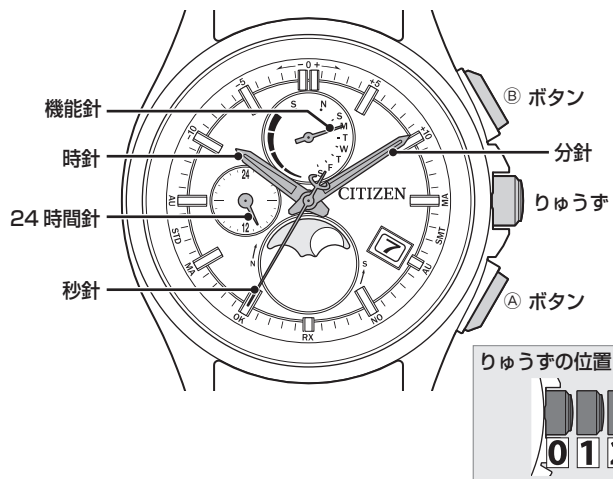


・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  H874 取扱説明書

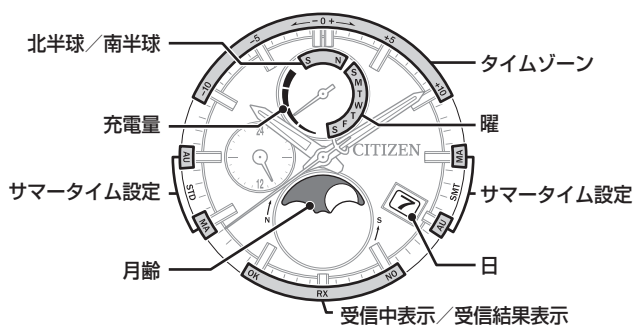
各部の名称

・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

針とボタン



表示



・ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

充電量を確認する

- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 右下のAボタンを押す
機能針が充電量をレベル表示します。
- 3 右下のAボタンを押して終了する
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で通常表示に戻ります。

充電量のレベル表示

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	180~130日	130~70日	70~2日	2日
表示の意味	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。
	安心してお使いいただけるレベルです。			すぐに充電してください。

・充電量レベルが「1」または「0」のときは、機能針は常に充電量を指します。

ワールドタイム

この時計は、UTC(協定世界時)基準の24のタイムゾーンを設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

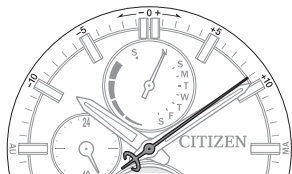
- ・設定するタイムゾーンによって、標準電波の受信局が異なります。

タイムゾーンの設定を確認する

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。

例:タイムゾーンが+9に設定されているとき



- ・タイムゾーンと秒針の位置の対応については、表をご覧ください。

2 りゅうずの位置を②にして終了する

通常表示に戻ります。

タイムゾーンの設定を変更する

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。

2 りゅうずを回して、タイムゾーンを選ぶ

- ・タイムゾーンと秒針の位置の対応については、表をご覧ください。
- ・現在と異なるタイムゾーンを選ぶと、それに合わせて時計の針/表示が動きます。

3 りゅうずの位置を②にして終了する

通常表示に戻ります。

■ タイムゾーンと秒針の位置について

秒針の位置	タイムゾーン	受信局
49秒	-11	◆アメリカ
50秒	-10	
51秒	-9	
52秒	-8	アメリカ
53秒	-7	
54秒	-6	
55秒	-5	◆アメリカ
56秒	-4	
57秒	-3	
58秒	-2	◆ドイツ
59秒	-1	
0秒	0	ドイツ
1秒	+1	
2秒	+2	◆ドイツ
3秒	+3	
4秒	+4	
5秒	+5	◆中国
6秒	+6	
7秒	+7	
8秒	+8	中国
9秒	+9	日本
10秒	+10	◆日本
11秒	+11	
12秒	+12	

- ・表中のタイムゾーンの数値は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- ・「受信局」に◆マークのついているタイムゾーンでは、受信範囲外のため実際には標準電波は受信できません。サマータイムと標準時刻の切替は、手動で行う必要があります。
- ・電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。



サマータイム

■ サマータイムについて

サマータイムとは、夏期の時刻を標準時刻よりも進め、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

- ・サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- ・サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

■ サマータイム設定について

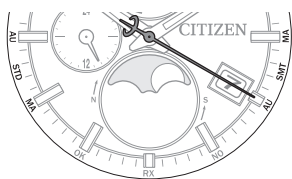
- ・標準電波には、サマータイム信号(サマータイム実施期間中かそうでないかを伝える信号)が含まれています。
- ・この時計は、サマータイム信号を受信して、サマータイムと標準時刻の表示を自動で切替えることができます。
- ・サマータイム設定は、タイムゾーンごとに行います。

サマータイム設定を確認する

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。

例: 「SMT AU」に設定されているとき



秒針の表示	現在の表示時刻	サマータイムと標準時刻の切替
SMT MA 	サマータイム	手動 ・サマータイム信号の内容にかかわらず、サマータイムを表示します。
SMT AU 		自動 ・サマータイム信号が標準時刻を知らせると、自動で標準時刻表示(STD AU)に切替わります。
STD MA 	標準時刻	手動 ・サマータイム信号の内容にかかわらず、標準時刻を表示します。
STD AU 		自動 ・サマータイム信号がサマータイムを知らせると、自動でサマータイム表示(SMT AU)に切替わります。

2 りゅうずの位置を①にして終了する

通常表示に戻ります。

サマータイム設定を変更する

標準電波が受信できる地域で使用していて、すべて自動で設定して欲しい	→ 「SMT AU」または「STD AU」を選んでください。
サマータイムが導入されている地域で使用していて、標準電波が受信できない	→ 「SMT MA」または「STD MA」を選んでください。サマータイム実施期間になったら「SMT MA」に、サマータイム実施期間が終わったら「STD MA」に、それぞれ手動で切替えてください。
サマータイムが導入されていない地域で使用している	→ 「STD MA」を選んでください。

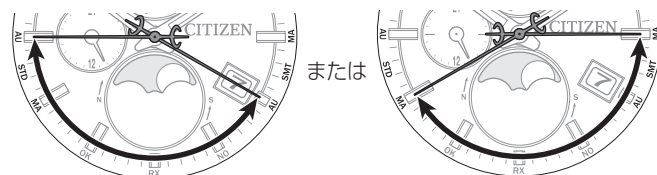
■ サマータイムと標準時刻の表示を変更する

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。

2 りゅうずを回して、表示時刻を選ぶ

・りゅうずを回すと、「SMT」と「STD」が切替わり、表示時刻も変わります。



3 りゅうずの位置を①にして終了する

通常表示に戻ります。

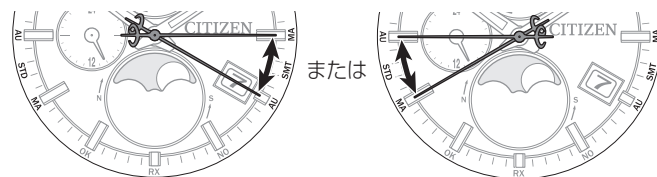
■ サマータイムと標準時刻の切替方法を変更する

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。

2 右下のAボタンを2秒間押して、切替方法を選ぶ

・右下のAボタンを2秒間押すごとに、「AU」と「MA」が切替わります。



3 りゅうずの位置を①にして終了する

通常表示に戻ります。

北アメリカおよびヨーロッパでお使いの方へ

次の表に含まれるタイムゾーンでは、あるタイムゾーンでサマータイム信号を受信すると、同一受信局の他のタイムゾーンでも、サマータイムと標準時刻の表示が切替わります。

- ・あるタイムゾーンでサマータイム設定を「SMT MA」または「STD MA」に設定した場合は、そのタイムゾーンではサマータイム信号を受信してもサマータイムと標準時刻の表示は切替わりません。

受信局	タイムゾーン
アメリカ	-9/-8/-7/-6/-5
ドイツ	-1/0/+1/+2



電波を受信する

前回の電波受信の結果を確認する

1 りゅうずの位置を①にする

2 右下の④ボタンを押す

秒針が、前回の電波受信の結果を指します。

OK		受信に成功しました。
NO		受信に失敗しました。

- もう一度、ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。
- 電波の受信後にりゅうずを操作した場合、前回の受信結果にかかわらず秒針は「NO」を指します。

電波を手動で受信する

- 受信が完了するまでには2分から30分かかります。

1 りゅうずの位置を①にする

2 右下の④ボタンを2秒間押す

秒針が前回の電波受信の結果を指します。
その後、秒針が「RX」を指して電波受信が始まります。

3 電波受信しやすい環境に時計を置く

- 秒針が「RX」を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。
- 受信が終わると通常表示に戻ります。

■ 受信を中断したいときは

秒針が「RX」を指している間に、右下の④ボタンを2秒間押すと、受信が中断され、通常表示に戻ります。

月齢表示

北半球・南半球を設定する

月の満ち欠けの見え方は北半球と南半球で異なります。時計を使用する場所に合わせ北半球・南半球の設定を行ってください。

- 赤道付近で使用する場合は、月が南の空に見えるときは「N」に、北の空に見えるときは「S」に設定してください。

1 りゅうずの位置を①にする

機能針が現在の設定を指します。

N		北半球
S		南半球

2 右上の③ボタンを押す

- 右上の③ボタンを押すごとに設定が切替わります。

3 りゅうずの位置を①にして終了する

月齢表示の見かた

北半球				
南半球				
月齢	0	約7	約15	約23
月相	新月	上弦	満月	下弦

- この月齢表示は、月の形そのものを表示したものではありません。月齢の目安としてご利用ください。

月齢表示を補正する

月齢表示と実際の月齢がずれているときは、±2の範囲で月齢表示を補正することができます。

- 月齢がわかりやすい新月や満月のときに補正することをお勧めします。

1 りゅうずの位置を①にする

機能針が北半球・南半球の設定を指します。

2 右下の④ボタンを2秒間押す

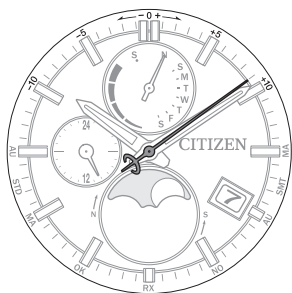
- 右下の④ボタンを2秒間押すごとに、月齢表示が以下のように補正されます。
+1 → +2 → -2 → -1 → ±0 → (始めに戻る)
- 右下の④ボタンを押してすぐに離すと、補正值は±0になります。

3 りゅうずの位置を①にして終了する

時刻・カレンダーを手動で合わせる

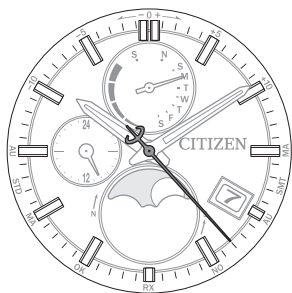
1 りゅうずの位置を①にする

秒針が現在のタイムゾーン設定を指します。



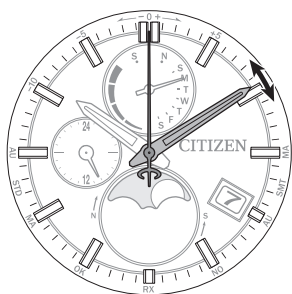
2 右上の③ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が23秒を指します。



3 りゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指し、分針が少し動きます。



4 右上の③ボタンをくり返し押し、合わせる針/表示を選ぶ

- ・右上の③ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切替わります。
時/分 → 日 → 曜 → 年/月(カレンダー用) → 年(月齢用) → (始めに戻る)
- ・針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。

5 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

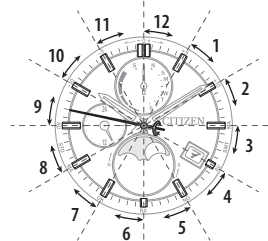
- ・時針/分針/24時間針は連動します。
- ・午前/午後は、24時間針で確認します。
- ・日表示は、機能針が5回転すると切替わります。
- ・時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6 手順4と5をくり返す

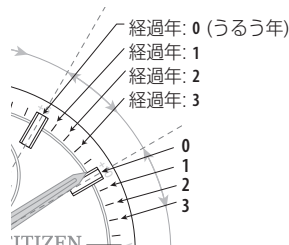
7 時報に合わせて、りゅうずの位置を④にして終了する

年と月(カレンダー用)の設定について

カレンダーを正しく表示させるために、年と月を秒針の位置で設定します。「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。各数字が月に対応します。



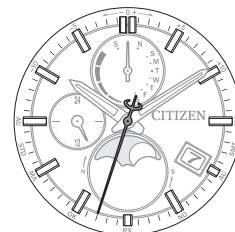
「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



年	経過年	秒針の位置
2020 2024 2028 2032	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2021 2025 2029 2033	1	1目盛り目
2022 2026 2030 2034	2	2目盛り目
2023 2027 2031 2035	3	3目盛り目

例: 2023年6月を設定するときの秒針の位置

2023年は、表より経過年が「3」なので、秒針は、6月の範囲の3目盛り目を指すことがわかります。



年(月齢用)の設定について

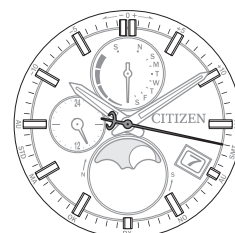
月齢を正しく表示させるために、年を秒針の位置で設定します。

年	秒針の位置	年	秒針の位置	年	秒針の位置
2023	17秒	2031	6秒	2039	14秒
2024	18秒	2032	7秒	2040	15秒
2025	0秒	2033	8秒	2041	16秒
2026	1秒	2034	9秒	2042	17秒
2027	2秒	2035	10秒	2043	18秒
2028	3秒	2036	11秒	2044	0秒
2029	4秒	2037	12秒	2045	1秒
2030	5秒	2038	13秒	2046	2秒

・2047年以降も同様に19年周期で設定してください。

例: 2023年を設定するときの秒針の位置

表より秒針は17秒を指すことがわかります。



基準位置を確認・修正する

時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

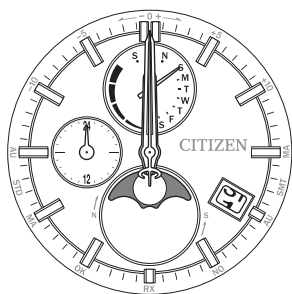
- 各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- 月齢表示の位置: 満月
- 機能針の位置: 「S」(日曜日)
- 日表示の位置: 「31」と「1」の間
- 時針/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
- 24時間針の位置: 「24」

正しい基準位置



1 りゅうずの位置を①にする

2 右上の③ボタンを10秒間以上押す

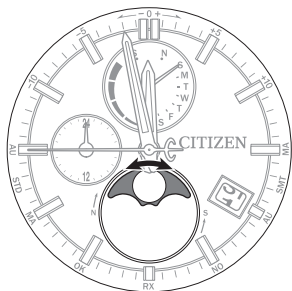
- 各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
- 針が動き出したらボタンを離します。

3 上の図を参考に、基準位置を確認する

正しい	右上の③ボタンを押して、終了します。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。

4 りゅうずの位置を②にする

月齢表示が少し動き、月齢表示の基準位置の修正ができるようになります。



5 右上の③ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切替わります
月齢表示 → 機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
- 針/表示が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。

6 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- 時針/分針/24時間針は連動します。
- 機能針/日表示の基準位置を修正するときは、りゅうずを時計回りに回してください。
- 日表示は、機能針が5回転すると切替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

7 手順5と6をくり返す

8 りゅうずの位置を①にする

9 右上の③ボタンを押して終了する

通常表示に戻ります。

オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。
6ページの手順5以降をご覧ください。

2 タイムゾーンを設定する

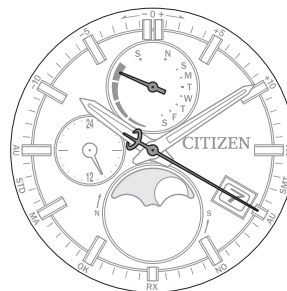
2ページをご覧ください。

3 時刻・カレンダー合わせをする

電波を手動で受信して合わせる場合→4ページ
手動で合わせる場合→5ページ

1 りゅうずの位置を②にする

秒針がサマータイム設定を、機能針が充電量を指します。



2 ④ボタンと③ボタンを同時に4秒間以上押して、離す

針/表示が動き始め、オールリセットが行われます。針/表示の動きが止まるまでお待ちください。

オールリセット後の各設定

時刻	午前0時00分0秒
年と月(カレンダー用)	うるう年からの経過年「2」の年の1月(秒針の位置: 7秒)
日	1日
曜	日曜日
ワールドタイム	タイムゾーン0
サマータイム	全てのタイムゾーンで、「STD AU」
北半球/南半球	北半球
年(月齢用)	2010年(秒針の位置: 4秒)
月齢	15(満月)
月齢表示補正值	±0